



先端診断技術開発センター

Center for Development of Advanced Diagnostics (C-DAD)

戦略的なバイオバンクが、北海道発の臨床研究を力強く推進する。

検査や診断のために採取された病理組織・血液・体液の残余検体を適切に保存することで、新しい診断・治療法の開発や創薬研究に利用することが可能となります。北海道大学病院 先端診断技術開発センターに生体試料管理室(バイオバンク)を設置し、検体を保存するだけでなく、次世代シーケンサーなど最先端の技術を導入してより高度な疾患データのプロファイリングを行うことで、臨床研究を推進します。

組織図

先端診断技術開発センター

診断開発企画室

基盤技術開発室

生体試料管理室

ゲノム検査・開発室



北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構
プロモーションユニット

先端診断技術開発センター

お問い合わせ |

〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目

TEL.011-706-7429 FAX.011-706-5025